

# 当初見込み大幅に上回る

# おもてなし広場黒字343万円

## 小林村長『道の駅化』に取り組む

弥彦観光協会（神田睦雄会長）は二十八日午後三時半から弥彦村商工会館で平成三十一年度総会を開き、三十一年度事業計画、収支予算、三十年度事業報告、収支決算、役員改選などをすべて全会一致で可決、承認。三十年度収支決算では、グランドオープン一年目の「おもてなし広場」の経常収支は三百四十三万九千二百十六円の黒字と当初見込みを大幅に上回る実績となった。

## 弥彦観光協会総会

## 神田睦雄会長を再選

総会には会員百九人のうち、四十二人が出席、六十三人が委任状を提出。開会あいさつで、神田会長は「昨年度はおもてなし広場、駅前広場湯一つ核ができて客の流れのわが完成し、観光協会がスムーズになった。き



開会あいさつをする神田会長



祝辞を述べる小林村長



祝辞を述べる渡部宮司

ようは皆さん方からきた。大変だったが、どうにかの意見をお願いしたい。渡部吉参加、弥彦観光ほらんで、いあガイド、弥彦湯かけ、インバウンド対応など。三十年度決算は経常収増減高は三百四十三万九千二百十六円の黒字。経常収益は弥彦村の管理委託料四百三十万円、テナントの賃料六百一十二万五千七百七十五円など。

パイパスの延伸、弥彦競輪場改修などの計画を説明し、「いろいろやりたことにはあるので、さらにリーダーを増やして最終的には税収を上げていきたいと思います。弥彦観光ほらんで、いあガイド、弥彦湯かけ、インバウンド対応など。三十年度決算は経常収増減高は三百四十三万九千二百十六円の黒字。経常収益は弥彦村の管理委託料四百三十万円、テナントの賃料六百一十二万五千七百七十五円など。

ど。経常費用は職員一人分の人件費二百六十六万六千八百八十六円、光熱水料費百四十三万九千九百三十三円、雑費八十九万八千四百八十四円、消耗品費八十八万七千八百五十五円など。

全国的にも珍しい  
三本の源泉  
%源泉掛け流し  
100%天然自噴温泉  
TEL 0256-82-1126

女性支持率 K No.1  
株式会社 県央代行  
☎0256 36-6611  
月～土曜 PM2:00～AM3:00  
日曜・祭日 PM2:00～AM2:00 予約歓迎

光協会、エリアの各市町、JRGグループとの連携によるDCに向けた取り組み、③SNS、ツイッターを利用した新たな情報発信④通年事業の実施、⑤行政・旅館組合とタイアップした首都圏での観光イベントの開催の五項目。



弥彦観光協会総会

役員改選は二年の任期満了に伴うもので、神田会長は再任。副会長には人事異動に伴い、新しく野地誠弥彦観光協会支那人が就任した。質疑では、小林村長がおもてなし広場の道の駅化に取り組む考えを示した。三富克是事務局局長は「二年たつたばかりで今のところ、道の駅化は考えていない。今後、村長から話ががあれば検討していきたい」と述べた。小林村長は「時間的な余裕がないので、できる限り早く実現したいが、いつの時点で行うかは決めていない」と述べ、県道新潟寺泊線のバイパス延伸を含めて検討する考えを示した。総会は五時半ころ終わり、会場を変えて懇親会を開いた。

格安航空会社(LCC)による新潟空港からの二次交通性の整備も引き続き行い、伊丹空港でのPRなどの関西圏からの誘客にも取り組む。インバウンド対策では案内看板やパンフレットの整備などを行う。

三十一年度収支予算は経常収益、経常費用とも、前年度より八十一万円増の三千三百八十八万円。経常収入は事業収益二千八百九十二万九千九百円、会費五百六十五万五千円、補助金等三百三十万五千円、委託金百万円など。経常費用は事業費二千二百四十六万円、管理費一千四百二十二万円。

▲新潟県弁護士会臨時記者会見△取調への全事件全過程可視化実現を求めるとの会長声明発表(午後三時から新潟市・新潟県弁護士会館)

▲中越よつば森林組合第十回通常総代会(午後二時から長岡市)

今日のメモ